



2004

1% CLUB COLLEGE

ワンパーセントクラブカレッジ

多文化共生コース

多文化共生コースのご案内

日本に住む外国人も増え続け、外国人労働者はすでに必要不可欠な存在となっています。しかし、受け入れ側である日本の社会はまだその現実戸惑い、十分な対応がとれていないのが現状です。より多くの方々に認知していただき、企業・行政・NPO等の枠をこえた新たな取り組みが今必要とされています。

今回、「在日外国人」「多文化共生」という分野に対して、企業の方々にご理解を深めていただくとともに、多文化共生社会実現に向けた、NPOと企業の協働を考える場を作っていきたいと考えています。

第1回

9月15日(水)
15:00 ~ 17:00

「多様化する日本 - 外国人の受け入れを考える」

(社)日本経済団体連合会 井上洋氏

(特活)多文化共生センター 理事 田村太郎氏

日本に住む外国人も増え続け、定住化が進んでいます。しかし、受け入れ側である日本の社会はまだその現実戸惑い、十分な対応がとれていないのが現状です。そうしたなか、日本経済団体連合会が「外国人受け入れ問題に関する提言」を発表しました。単なる労働者の埋め合わせとしてではなく、活力と魅力溢れる日本を目指すための人材と位置付け、在日外国人に関わる様々な問題に対して総合的、かつ具体的な提案を行っています。

第1回はこの提案をもとに、外国人受け入れに伴う課題とその展望について、皆さんと一緒に考えてみたいと思います。

(特活)多文化共生センター

1995年の阪神・淡路大震災時における外国人被災者への支援が始まり。国籍やことば、文化などの違いを認め合い尊重し合う「多文化共生社会」の実現を目指すNPO。

第2回

9月28日(火)
15:00 ~ 17:00

「NPOの活動から見える日本社会のひずみ」

(特活)多言語社会リソースかながわ 副理事長 松野勝民氏

(特活)多文化共生センター・東京21 代表 王慧瑾氏

在日外国人の定住化に伴い、育児や子どもの教育、医療・福祉など、「日本人」を想定した今までのシステムでは対応できない問題やひずみが生まれてきています。外国人にとっても魅力のある社会の実現を目指す時、こうした課題は避けて通ることはできません。今回は、在日外国人の「子ども・教育」「医療」をテーマに、これらの問題に実際に取り組んでいるNPOが報告を行い、多様な社会

に向けて何をクリアしていかなければいけないのかについて、皆さんと一緒に考えたいと思います。

(特活)多言語社会リソースかながわ(MICかながわ)

1992年「外国人医療と言葉の問題を考える会」を立ち上げ、医療通訳をはじめ、日本語を母語としない住民の定住化に伴う諸問題に対応するためMICかながわを設立。暮らしや医療における多文化・多言語サービスの実現を目指している。

第3回

10月12日(火)
15:00 ~ 17:00

「新たな住民を迎えて - 地域・行政の取り組み」

(財)豊田市国際交流協会 理事兼事務局長 倉橋靖俊氏

国レベルにおいて外国人の受け入れについての是非が問われている間に、地域ではすでに目の前にある現実の課題となっています。保険、医療、教育など様々な場面において、新たな地域住民である外国人への対応が迫られています。

そうした中、外国人の集住する地方都市が集まり、国への提言や新たな取り組みを始めています。今回は、地域が抱える外国人に関する課題と、外国人集住都市会議を

はじめとする新たな取り組みを紹介し、企業/NPOの役割と協働について皆さんと一緒に考えたいと思います。

外国人集住都市会議

外国人住民が多数居住する14自治体で構成。外国人住民に係わる施策や活動状況に関する情報交換、自治体だけでは解決できない法律や制度について、国・県及び関係機関への働きかけを行っている。

～ 1%クラブカレッジとは～

1%クラブカレッジは、企業に勤める人々が社会の課題について学び、自ら考え、行動するきっかけを提供するため、1%クラブが2003年度から開設したカレッジです。社会福祉、環境、教育、多文化共生など社会には多数の課題があります。そうした課題に気づき、対処するために活動しているNPO関係者を講師に、活動から見てきた社会の姿や問題点を語っていただき、参加者が共に考え学んでいくことを目指します。

関心ある社会的課題の現状を知りたい、社会と繋がっているという実感を持ちたい、自分が培ってきた知識や技術を社会のために役立てたい、NPOとは何かを知りたい…。そんな思いを持っている企業人の皆さん、是非ご参加ください。新しい出会いや刺激が皆さんをお待ちしています。

第4回

10月26日(火)
15:00～17:00

「新しいマーケットとしての外国人」

(株)アイピーシー・ワールド 取締役放送事業本部副本部長 黒澤道明氏
(株)グローバルコンテンツ 代表取締役 岩山仁氏

日本の出生率低下に伴い、外国人はより大きな割合を占めてくると予想されます。単に「労働者」や「支援を必要とする人たち」という位置付けではなく、新たなマーケットとして無視できない存在になる可能性もあります。今回は、在日外国人をマーケットとして捉えビジネスを展開する企業を招き、NPOと企業が協働するヒントを探りたいと思います。

(株)アイピーシー・ワールド
1991年創刊の日本で初めてのポルトガル・スペイン語新聞「インターナショナルプレス」が前身。1996年からポルトガル語、スペイン語による衛星放送を開始。

(株)グローバルコンテンツ
2001年2月に設立。携帯電話・インターネットを用いた多言語情報サービス(英語、タガログ語、スペイン語、ポルトガル語)を提供。

第5回

11月2日(火)
15:00～17:00

「CSRの観点から考える」

IIHOE(人と組織と地球のための国際研究所) 代表者 川北秀人氏

雇用やサプライヤーの多様性が欧米のCSR(企業の社会的責任)では柱のひとつとなっています。また消費者に多様な文化背景を持つ人々が増えている現在、CSRの範囲も再考を迫られています。CSRの第3者評価に関する専門家の立場から、多文化共生社会におけるCSRを考えます。

IIHOE(人と組織と地球のための国際研究所)
94年設立。非営利組織(NPO)や社会責任志向の企業のマネジメント支援を行っている。
<http://www.iihoe.com/>

第6回

11月16日(火)
15:00～17:00

「協働のモデルプランを作る」

(特活)多文化共生センター 理事 田村太郎氏

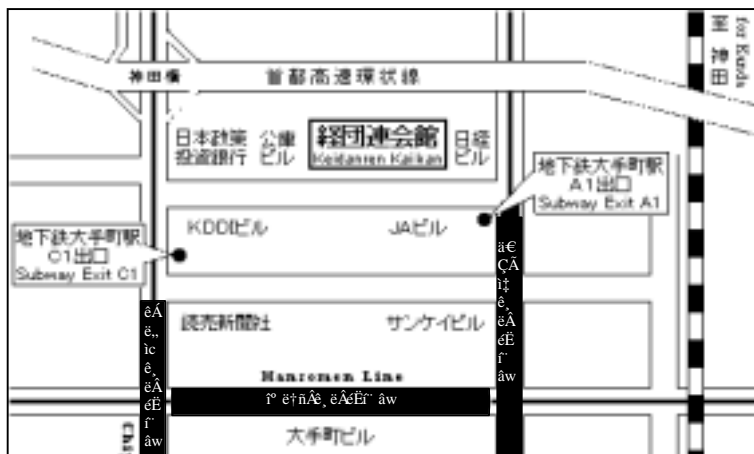
寄付や社員のボランティア派遣にとどまらないINPOと企業との協働は、どのように構築していけばよいのでしょうか。内外の事例を学び、参加者自身によるディスカッションを通して、多文化共生社会を形成する上で有効かつ具体的な協働のモデルプランをつくります。

進む企業とNPOとの協働
CSRの推進には、地域で具体的な活動を展開し専門性の高いNPOと協働することが不可欠です。寄付やボランティアを紹介するだけでなく、本業でのサービスや商品開発、社会的価値を高める活動で互いの強みを生かしたパートナーとして企業をみるNPOも増えています。

開催概要

日時	第1回:多様化する日本—外国人の受け入れを考える	9月15日(水)15:00~17:00
	第2回:NPOの活動から見える日本社会のひずみ	9月28日(火)15:00~17:00
	第3回:新たな住民を迎えて—地域・行政の取り組み	10月12日(火)15:00~17:00
	第4回:新しいマーケットとしての外国人	10月26日(火)15:00~17:00
	第5回:CSRの観点から考える	11月2日(火)15:00~17:00
	第6回:協働のモデルプランを作る	11月16日(火)15:00~17:00
場所	経団連会館 会議室	
定員	各回30名(定員になり次第締切)	
参加費	各1回 2,000円 全回参加 10,000円(全回参加の方を優先させていただきます) 全回参加の場合は初回にお支払いください。以外の方は各回の参加時にお支払いください。	
参加申込方法	<ul style="list-style-type: none"> ・出席のお申し込みは、各回の3日前が締切です。必要事項をご記入の上、Eメールもしくはファックスにてお申し込みください。 ・定員を超えお断りをする場合を除いて、参加確認のご連絡はいたしませんので、当日会場までお越しください。 ・参加お申し込み後、ご欠席の場合は事務局までご連絡ください。 <p>申込先:1%クラブ事務局 E-mail:1p-club@keidanren.or.jp 電話:03-5204-1750 / FAX:03-5255-6255</p>	

会場



1%クラブ事務局
〒100-8188 東京都千代田区大手町 1-9-4
(社)日本経済団体連合会 社会本部内
電話:03-5204-1750 / FAX:03-5255-6255
E-mail:1p-club@keidanren.or.jp
URL:http://keidanren.or.jp/1p-club

1% (ワンパーセント) クラブとは

日本経団連では、1%クラブ(会長・代表世話人:伊藤助成 日本生命保険(相)会長)を1990年11月に設立しました。1%クラブの会員は、経常利益や可処分所得の1%相当額以上を自主的に社会貢献活動に支出しようと努める企業や個人です。1%クラブでは、会員に対して寄付や社会貢献活動に関する情報を提供するとともに、広く一般の方々に企業の社会貢献活動に対する理解を深めていただくための事業を行っています。また、企業やその社員と、市民活動団体をはじめとするNPOを結び付け、より有効な社会貢献活動を行うためのコーディネートも行います。

参加申込書

氏名			会社名			
住所						
ご連絡先						
ご希望の参加講座をチェックしてください。						
全回参加						
各回選択で参加						
第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	
FAX03-5255-6255/E-mail:1p-club@keidanren.or.jp						